

わが美しき故郷よ

わが美しき故郷よ・・・
がまんつよく、しんぼうつよく・・・
恥ずかしがりやで
決して自分のことを多くは語らぬ人々よ
かならずひとのことを心配し、なぐさめを口にする人々よ
(略)

わが美しき故郷よ・・・
受難の民よ
寡黙で哀しき魂よ
願う――
この世は壮絶な苦しみでいっぱい、ずっとずっとそうだったんだ
祈る――
今ここに自分が在るのはたまたまだ たまたま助かっているだけで
叫ぶ――でも、どこに？どこに叫べばいいのかわからない
全ての希望を絶たれた人々
全身全霊で助け合えないといけないのだ
そのために生かされている
この世はずっとそうだったんだ
遅い、遅い、いつでも遅すぎる
こんなことになるまでそれをわからなかったわたしの愚かさを
どうかお許し下さい
(略)

畠山美由紀（ミュージシャン）さんの詩の一部です。

● 第224回 火曜サロン 2011年5月3日（火）18:30～

報告会

「東北へ行ってきました。アートによる支援を考える」

- 1 わが美しき故郷よ
- 2 仙台ミーティングの目的 (配布資料)
- 3 スケジュール
- 4 画像による報告
- 5 東北の皆さんとの分かち合いプロジェクト (配布資料)
- 6 旗をあげる
- 7 寄付の流れ
- 8 キーパーソンとの出会い
- 9 言葉を集めて
- 10 フリー・トーキング

\$\$\$\$\$\$\$\$ 東日本大震災が文化の力で立ち上がるため に\$\$\$\$\$\$\$\$
「アート・エイド・東北」募金

【管理口座】

みなと銀行 北野坂支店 普 1656831 公益財団法人神戸文化支援基金
郵便振替口座 公益財団法人 神戸文化支援基金 0095000-322393
振込みの口座は店番 999 当座 0322393

本基金へのご寄付は、公益財団法人への寄付として寄付控除の対象となります。
振込みと共に、お名前、ご住所を必ず、お教え下さい。

2

4月18日 仙台ミーティング

- 目的
- ・ 東日本大震災からの文化的復興を目指す緩やかなネットワーク
----- 中間支援組織（市民による）
 - ・ 被災地が自ら文化の力で立ち上がっていくという「旗」を上げる
----- そこから見える象徴としての旗
 - ・ 被災地外からそこへ向けて芸術文化の復興を支援するための寄付を集める
---「東北文化復興基金 TOHOKU REVIVAL ART FUND」のようなもの。
- 全体を視野にいれながらアドバイスし、繋ぎ、適性に配分していく。
そこからのニーズを受けてアーティストの支援に結びつける。

それら象徴するネーミングとして「アート・エイド・東北」を仮に上げましたが、
これは「アート・エイド・神戸」からの連想ですから、もちろん皆さんが決めることです。

- 支援期 基金の立ち上げ
文化を支えるお金の循環の仕組みづくり
各種のチャリティー アーティストへの支援
被災地外からの文化支援の受け皿 情報基地
避難所、仮設住宅へのアートの出前 文化催事への招待
- 復旧期 町を美しく（壁画キャンペーン）
震災から生まれた音楽 詩集、画集、写真集などの出版、または出版助成
震災から生まれたアート 詩集、画集、写真集などの出版、または出版助成
震災から生まれた音楽や演劇の上演や活動助成
詩の朗読会 様々なアートのコラボレート
- 復興期 震災で生まれた芸術の発信 東北文化の発信

アート・エイド・神戸実行委員会 元事務局局長
公益財団法人「神戸文化支援基金」代表理事
キヤラリー島田 島田 誠

3

スケジュール 4/17～20

- 4月
- 17日（日） 18:20 ギャラリー島田 出発
19:30 夜行バス 梅田スカイビル
- 18日（月） 8:30 仙台着
11:00 大塚雅子さんと合流 昼食
12:00 佐藤さんの案内で被災地へ
若林地区、荒濱地区、仙台空港、北へ名取市、
多賀城市、七ヶ浜町（4時間）
16:00 せんだいメディアテークで会議
18:30 食事しながらミーティング
20:00 A R C Tの会議にオブ参加
土岐謙次さん宅に泊
- 19日（火） 10:00 せんだいメディアテーク出発
A R C T事務局の鈴木拓、伊藤みゆさんの案内で被災地へ
ベルギーから帰国中のコンテンツボランティアダンサーの日玉浩史さん
(ACT FOR JAPAN) も同行
11:00 演劇工房 T E N B O X訪問
仙台空港から福島寄りの岩沼市、亘理町（わたりちよう）、山元町（福島
県境）を回る
16:00 市内へもどりミーティング
ビジネスホテル泊
- 20日（水） 10:00 せんだいメディアテークで佐藤泰、甲斐賢治さんと
11:00 佐藤さんの案内で「みやぎNPOセンター」の
紅島晶子さんとミーティング
12:30 佐藤さんの案内で新田新一郎さんの自遊楽校へ
14:30 仙台駅へ
15:30 新幹線リレー号で 福島
福島、東京経由で新神戸帰着

5

東北の皆さんとの分かち合いプロジェクト

4月18日ミーティングで見えてきたこと 島田 誠

- 基本コンセプト 東北のことは東北の皆さんが決める
被災地・被災された皆さんが文化の力で立ち上がってゆく。
そのことにお金でも知恵でもプロジェクトでも応援します。
- 他の支援との違いは何か 多様なルートがあるほうがいい

- ① 国や行政による震災復興基金による助成＝税金・赤字など＝長期
手法：制度による (骨格)
- ② 企業メセナ協議会ルートによるもの＝企業から＝16年前の日本財団による阪神
淡路コミュニティ基金などの手法に近しい (筋肉)
- ③ アートNPOリンクによるエイド＝アーティストとその活動による
手法：団体あるいはプログラム助成 (動脈)
- ④ 「アート・エイド・東北」(仮称)＝市民メセナによる＝短期・緊急
多くの無名の市民や組織化されていないアーティストによる
手法：現地のニーズに合わせてメリハリをつけて即断即決
使途は問わない (HPなどで報告) (毛細血管)

皆さんが文化の力で立ち上がってゆく姿が大切です

兵庫・神戸からだけでなく支援の流れが必ず出来ることを確信しています。
私が代表として2009年の公益財団法人「神戸文化支援基金」は神戸からの支援活動プログラ
ムに対して200万円の助成枠を設けています。
それとは別で今夏までに数百万円の寄付を送ることが出来ると思います。
必ず実績が次に音頭を取っていただいて、A R C Tの代表や「自遊楽校」の新田さんなどな
ど素敵な人材が多士済々いらっしゃいます。頼もしいことです。

「アート・エイド・東北」(仮称)

緊急支援期における装置だと考えられてはいいでしょうか。(期限装置)
信頼できる各ジャンルのキーパーソンによる実行委員会方式
柔軟でメリハリの効いたスピードのある運営。
銀行口座・郵便振替口座の開設が第一です。歩きながら固めていただければ。
被災3県にも目配りしながら、あらゆるジャンルに対応できるように復興に向けた取り組みや、
被災した地域に住まい活動してきたアートNPOの活動再開を応援するため、活動支援を目的とした寄
附募集や道具の提供、映像アーカイブをはじめます。また、災害を恐れ避けているアーティストの
活動や、受け入れNPOへの支援や情報提供なども積極的に行う。

6

旗をあげる

「旗」の語源は
旗のもとに人々が集い、歩くことだといふ。
ならば、まず旗をあげて出行する
旗のもとに集まる人々の声を聴く
途上にある者たちに地図を描く

新井敏記「SWITCH」編集長

・・・「アート・エイド・東北」という旗を掲げる・・・

いつの時代そうであったように
悲しみを美しさにかえ
苦しみを美しさにかえ
時に絶望をもまた美しさにかえ
その中に希望の種子を埋め込んでゆく・・・
それが美術という仕事なのだと思っています。

伊津野雄二

7

寄付の流れ

1. 国や行政による震災復興基金による助成
2. 企業メセナ協議会
GBFund（ジービーファンド、G=芸術、B=文化、F=復興、ファンド）は、3/23に企業メセナ協議会
が立ち上げた芸術・文化による復興支援ファンド。
次のような活動を、当面今後5年を以て支援。
 - 被災者・被災地を応援する目的でおこなわれる芸術・文化活動
 - 被災地の有形無形の文化資源を再生していく活動4月27日までに総額380万822円のご寄付を当ファンドに頂戴しました。
4/18（月）に「GBFund」の第1回助成選考会を行い、11件の活動を採択、総額245万円を助成決定。

3. ARTS NPO AID
東日本大震災に対し「わたしたちに、できること」をテーマに全国アートNPOフォーラム in 鳥取を開催。
アーティストならびにアートNPOの表現の回復を推進するプラットフォーム「アートNPOエイド」
を立ち上げ。このプラットフォームでは、アーティストやアートNPOによる復興に向けた取り組みや、
被災した地域に住まい活動してきたアートNPOの活動再開を応援するため、活動支援を目的とした寄
附募集や道具の提供、映像アーカイブをはじめます。また、災害を恐れ避けているアーティストの
活動や、受け入れNPOへの支援や情報提供なども積極的に行う。

4. 公益財団法人「神戸文化支援基金」の取り組み
4月1日の公益財団法人に認定に合わせた「アート・エイド・東北」の取り組みを発表。

- ① 兵庫県内の芸術団体または個人が被災地を支援する
2012年3月までに行われるプロジェクトに対して総額100万円（20万円/件を限度）2012年4月以後
に実施されるプロジェクトに総額100万円（20万円/件を限度）、合計200万円を助成いたします。
- ② 5月7日（土）チャリティーコンサート 全額寄付
- ③ 6月2日（木）チャリティーコンサート 収益の一部
- ④ 6月25日（土）チャリティーコンサート (ぼたんの会方式)
- ⑤ 8月 チャリティー美術展（合同）全額寄付
- ⑥ ギャラリー島田関係での寄付
募金箱 46,817円
被災地NGOへ 164,920円
財団口座へ 595,000円 合計 806,737円

8

キーパーソンとの出会い

- 志賀野雄一さん
先日お話しありがとうございました。
東北の人間として大変勇気づけられたことと、私たちに出来る可能性を示唆していただきました。
た。現実的に動くというのは、私の心積りでもあり、こうした大震災時はとても重要なこととおも
います。とても静かに話を聞いていただき、ありがとうございます。
取り急ぎ受け皿づくりいたします。任意団体になるとはありますが、動いてみます。
また、経過お知らせします。
(東北大学特任教授、東北学院大学教授、元仙台市文化担当セクションのトップ、キーマン)

- ARC-T事務局の鈴木拓さん。
大変勇気づけられました。
今後ともよろしくお願いたします。
私個人としてはアートエイド東北の立ち上げを願っています。
残念ながらARC-Tには財源の体力的限界があり、中期的支援という意味で期待しています。
なにか出来る事がありましたら、協力は惜しみませんので何でも言ってください。
(注)
ARC (Art Revival Connection TOHOKU=アルクト)の事務局で、もう一人の伊藤あゆみさん、ベルギー
在住のコンテンツボランティアダンサー日玉浩史さんと19日、10:00～16:00まで鈴木さんの運転で
被災地を訪ねながら話し合いを重ねました。

- 小川直人さん（メディアテーク映像関係学芸員）
せんだいメディアテーク/logueLLCの小川直人です。
育児休業中は本業分野からは離れようと思っただけですが、
島田さんの本を読み、こうしてお話を聞いて、この1ヶ月、生まれ
育った街の住人として、立場上の遠慮はやめて動き出してみようと思っただけです。
文化振興基金が本当につくれないうちから始めました。そのときはよろしくお願いたします。

- 新田新一郎さん（アトリエ自遊楽校）
志賀野さんとも話しました。なんでもさせてもらいます。
(注) 伊谷令子さんの紹介で訪ねた。アートミーティングの専門家で、幅広い人脈をもつ行動派。
キーマンの一人。

- 佐藤泰さん（せんだいメディアテーク副館長）
米川綾子さん、衛紀生さん経由で出会い、18日のミーティングをセットしていただき、
夜のアルクトの会議に同行。20日は宮城NPOセンターでの紅島晶子理事長とのミーティングに同
席。そのあと「自遊楽校」まで送っていただきました。佐藤さん抜きには、この成果は無かったです。

9

言葉を集めて

東北の人は本当に我慢強い。あんな状況でも気遣い合う姿を見て私は誇りに思います。
畠山美由紀（ミュージシャン 気仙沼）

日が経つにつれて本当に歌が必要とされる時が来たら、全力を注いで活動していきたい。
熊谷育美（ミュージシャン 気仙沼）

表現よりも自分が動いたほうがいい。三日目に吹き出しを決めた。
あんなふうにお話しながら進んでいる状態を、僕はそれまで見たことがなかった。
すべては限りある物だからこそ、その循環が見える社会へ。
小林武史（音楽プロデューサー ap bank 代表）

自分の仕事はあくまで歌うこと。募金や寄付は個人としてやればいいこと。 曾我部恵一（ミュージシャン）

今「歌うこと」だけがやめようと思う。今、歌ってしまったら、それがおれのボランティアの免許になって
しまう。 スガ シカオ（ミュージシャン）

「何も何かできないか」という衝動が、みんなの中からもすく湧き上がっている。それが希望だ。そういう大事な時期を僕は経験していて、次の社会の在りかたをもう一回考え直せる機会な
んだ。社会システムを変えよう。届けたい側と受け取る側の連絡がとれていないと意味がない。
伊勢谷友介（俳優）

(私も訪ねた宮城県七ヶ浜の避難所で働くアメリカ人女性)
「昨年の夏、私はよろしくお願いたします。皆さんに歓迎してもらった。ここが私の家。都合の良い時
だけお世話になります。なんて意味じゃない」「ここで米国に帰り、暖かいシャワーのある暮らしを選んだら、
私は口先だけの人間になってしまう」 マーティ・ミックエリクスさん

アート・エイド東北として、島田様のようなアクションを起こされるのか、今は分かっているかもしれませんが、
このような家族と島田様との巡りあわせを、私の動くべき道と結びつけるのであれば、是非、実働部隊として
私もアート・エイド東北に参加させてほしいだけではないでしょうか
東北地方で動く際、または運営する際には現地での人手が必要となるのではないのでしょうか。私は車の免許は
もちろん、4年ほどIT関連の企業で働いていました。Excel、Wordは使えます。無給で働く分には問題ありま
せん。 佐藤健さん（18日に被災地を4時間案内してくれた佐藤さんの息子さん）